

第1号議案の1

平成23年度事業報告

1 平成23年度は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により我が国の経済に大きな影響を及ぼし、特に福島第1原発事故による放射能流出問題は農畜産物の消費にも大きな影響を与えている。その後、被災地における養鶏場に飼料や燃料の供給が進むに伴い、素ひなの供給も行われるようになったが、被災地の復旧は今も進行中である。

2 平成23年4月4日に高病原性鳥インフルエンザの「発生予防」、「早期に発見・通報」及び「円滑な初動対応」に重点を置いて防疫対応を強化する観点から家畜伝染病予防法が改正された。

法律の改正に伴い平成23年6月30日「高病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」の一部が改正され、10月1日に「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定伝染病防疫指針」が、また、「発生予防」を実効あるものにするため10月7日に「飼養衛生管理基準（鶏その他家きん）」が定められた。

本病については、平成23年度において国内での家きんの発生は見られなかったが、アジア周辺諸国で依然として発生しており、種鶏ふ卵業においても法律に沿った衛生管理の徹底と防疫対応の必要性から「高病原性・低病原性鳥インフルエンザ防疫対応マニュアル」を作成した。

一方、我が国の原種鶏・種鶏の主な輸入国である米国、カナダ、EU諸国においても野鳥や家きんから鳥インフルエンザウイルスが確認され「家きん等の輸入停止」措置が執られている。

発生のタイプが、弱毒タイプの場合はいわゆる地域主義という発生した州及び県からの輸入が停止され、発生州（県）以外からの輸入は可能となっている。しかし、ドイツについては、地域主義が導入されていないため、今も輸入停止が継続されている。

3 鶏卵の需給については、厳しい経済情勢の中で鶏卵の消費はほぼ横ばいで推移しているものの、鶏卵の卸売価格は、東日本大震災の影響で鶏卵を首都圏に供給

できなくなり鶏卵相場は品不足から年度前半は上昇したが、後半は生産・供給が回復するとともに需給が緩和し前年を下回る相場となり年度としては平年並みの水準で推移した。

4 鶏肉の需給については、鳥インフルエンザ及び東日本大震災の影響により鶏肉の品不足が生じ自給はひっ迫し一時上昇したが、秋以降は輸入、国産在庫量の増加等によりむね肉、もも肉の卸売価格は軟調に推移した。中でもむね肉価格は加工・業務向け業務で競合関係にある輸入品の増加により低下傾向で推移している。

5 このような状況の中で、平成23年（1月～12月）におけるレイヤー関係の情勢については、

- (1) 種鶏導入めす羽数は108万3千羽と前年同期の122万1千羽に対して11.3%減少した。
- (2) 採卵用めすえ付け羽数（（社）日本種鶏孵卵協会調査）は、9,942万羽と前年の1億183万羽に対して2.4%減少した。
- (3) 鶏卵の価格は年平均196円/kg（全農東京M加重平均）と前年の187円/kgに対して4.8%上昇した。
- (4) 平成23年は、東日本大震災の発生により一時的に飼料供給が滞ったこと等から供給が減少し一時的に卸売価格が上昇したが、その後、供給が回復したことや輸入鶏卵が増加したこと等から価格は平年並みで推移している。

6 一方、平成22年（1月～12月）におけるブロイラー関係の情勢については、

- (1) 種鶏導入羽数は535万2千羽と前年の521万9千羽に対して2.5%増加した。
- (2) ブロイラー用え付け羽数（（社）日本種鶏孵卵協会調査）は6億6,455万羽と前年の6億8,227万羽に対して2.6%減少した。
- (3) 鶏肉の卸売価格は、もも肉は641円/kgと前年の618円/kgに対して3.7%上昇した。むね肉は264円/kgと前年の231円/kgに対して14.3%上昇した。
- (4) 鶏肉の需給については、もも肉価格は23年前半は鳥インフルエンザ及び東日本大震災の影響により堅調に推移したが、秋以降は輸入、国産在庫量の増加等により軟調に推移している。むね肉価格は加工・業務向けで競合関係にある輸入品の増加により低下傾向で推移している。

平成23年度に実施した主な事業の概要は次のとおり。

平成23年度事業の推進状況について

1 第36回通常総会

開催日時：平成23年5月10日（火）

場 所：馬事畜産会館

出席会員：会員93名中出席会員33名、書面表決者54名、合計87名

議 題：

第1号議案：平成22年度事業報告及び収支決算報告に関する件

第2号議案：平成23年度事業計画及び収支予算並びに関連する事項
決定に関する件

第3号議案：平成23年度会費の額並びにその徴収方法に関する件

第4号議案：役員補欠選任に関する件

2 協会運営事項

(1) 平成22年度（社）日本種鶏孵卵協会事業・会計監査

開催日：平成23年4月13日（木）10：30～12：00

場 所：（社）日本種鶏孵卵協会 事務局

出席者：監事及び会長

監査事項：平成22年度事業報告

平成22年度収支決算

(2) 役員会（理事・監事）

① 第1回役員会

開催日時：平成23年5月10日（火） 11：00～12：00

場 所：馬事畜産会館 会議室

○第36回通常総会提出議案について

第1号議案：平成22年度事業報告及び収支決算に関する件

第2号議案：平成23年度事業計画及び予算案に関する件

第3号議案：平成23年度会費の額及び徴収方法に関する件

第4号議案：役員補欠選任に関する件

② 第2回役員会

開催日時：平成23年7月13日（水）10：30～12：00

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：平成23年度事業の推進について

i 種鶏安定供給対策事業（新規）

ii 養鶏飼養環境改善技術推進事業（（社）日本養鶏協会事業）

（種鶏・ふ卵衛生管理技術研修会）

組織問題について

東日本大震災義援金について

家畜伝染病予防法の一部改正について

③ 第3回役員会

開催日時：平成24年2月10日（金） 10:30～12：00

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：平成23年度事業報告及び決算見込みについて

平成24年度暫定予算(案)について

平成24年度予算(案)について

理事・監事の役員改選について

一般社団法人移行認定申請について

定款及び諸規定の改正について

第37回通常総会開催期日について

(3) 正副会長会議

① 第1回正副会長会議

開催日時：平成23年7月12日（火） 10：00～12：00

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：理事会協議事項について

組織問題について

東日本大震災義援金について

家畜伝染病予防法の一部改正について

② 第2回正副会長会議

開催日時：平成24年2月9日（木）10：00～12：00

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：理事会協議事項について

3 地域協議会関係

① 北日本レイヤー孵卵協議会

3月11日東日本大震災のため通常春に開催する総会を延期。

i 総会・協議会

開催期日：平成23年10月25日（火）～26日（水）

場 所：奥州秋保温泉「蘭亭」

宮城県仙台市太白区秋保町湯元木戸保7-1

議 題：平成22年度事業報告及び決算報告

*役員改選：会長・協会理事 片山 詔司

（前会長 山本幸二氏の残期間）

*平成23年度事業計画及び予算案

*協会本部からの報告

*各地区の情勢動向・情報交換

② 関東甲信越レイヤー孵卵協議会

i 通常総会

開催期日：平成23年7月19日（火）15：00～

場 所：浅間温泉「富士之湯」

議 題：*平成22年度事業報告及び決算報告

*平成23年度事業計画及び予算案

*情報交換

*出席会員：5社、委任状3社 計8社（総会成立）

事務局から林正司常務出席

ii 協議会

開催期日：平成23年11月8日（火）～9日（水）

場 所：「大洗ホテル」茨城県東茨城郡大洗町磯浜町6881

議 題：*家畜伝染病予防法の一部改正について
*レイヤー素ひな出え付け動向について
*組織問題について
*地域情勢報告・意見交換について
(参加者) 8社 事務局から林正司常務出席

③ 中部レイヤー孵卵協議会総会

i 総会

開催期日：平成 23 年 5 月 27 (金) 17:00~18:00

会 場：たかだ八祥 (岐阜市杉山町 17)

議 題：*平成 22 年度事業報告及び決算承認の件
*平成 23 年度事業計画及び予算承認の件
*情勢報告・意見交換

出席会員：6社中 4社出席 事務局から林正司常務出席

④ 中国・四国レイヤー孵卵協議会総会

i 総会

開催期日：平成 23 年 5 月 3 日 (火)

会 場：(株)南伊予養鶏 会議室

議 題：*平成 22 年度事業報告及び決算報告
*平成 23 年度事業計画及び予算案
*役員改選
*情勢報告・意見交換

⑤ 九州レイヤー孵卵協議会総会

i 総会

開催期日：平成 23 年 5 月 25 日 (水) 11:00~15:00

会 場：スパリゾート久留米 (久留米市耳納 1-1)

議 題：*平成 22 年度事業報告及び収支決算報告
*平成 23 年度事業計画案及び予算案
*情報交換 (組織強化)

参加会員：8社

⑥ 東日本ブロイラー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成 23 年 8 月 23 日（火）

場 所：ジャスマックプラザホテル（札幌市中央区南 7 条西 3 丁目）

議 題：*平成 22 年度事業報告及び決算報告
*平成 23 年度事業計画及び予算案
*情勢報告・意見交換

ii 臨時総会

開催期日：平成 24 年 3 月 28 日（火）

場 所：馬事畜産会館 会議室（東京都中央区新川 2-6-16）

議 題：*平成 23 年度事業報告及び決算報告
*平成 24 年度事業計画及び予算案
*役員改選について
*情勢報告・意見交換

⑦ 中国・四国ブロイラー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成 23 年 7 月 30 日（土）11:00～

場 所：アークホテル岡山（岡山市北区下石井 2-6-1）

議 題：*平成 22 年度事業報告、決算、会計、監査報告
*平成 23 年度事業計画及び予算案
*協会報告・情報交換

来賓出席：山本満祥（社）日本種鶏孵卵協会会長

ii 臨時総会

開催期日：平成 24 年 3 月 24 日（土）11:00～

場 所：ホテルサンルート瀬戸大橋

議 題：*平成 23 年度事業報告、決算、会計、監査報告
*平成 24 年度事業計画及び予算案
*役員改選について
*協会報告・情報交換

⑧ 九州ブロイラー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成 23 年 6 月 8 日（水）

場 所：久留米ハイネスホテル

議 題：*平成 22 年度事業報告及び決算報告
*平成 23 年度事業計画及び予算案
*地域情勢・情報交換他

ii 協議会

開催期日：平成 23 年 11 月 25 日（金）

場 所：久留米職業訓練センター

議 題：*飼養衛生管理基準について
*飼料価格値上げに伴う諸問題について
*地域情勢・情報交換他

4 原種鶏部会

(1) 通常総会

開催期日：平成 23 年 7 月 28 日（木）16：00～17：00

場 所：皆生温泉「皆生シーサイドホテル」会議室
（米子市皆生温泉 3-4-3）

議 題：*平成 22 年度事業報告及び決算報告
*平成 23 年度事業計画及び予算(案)
*会費について
*農林水産省動物検疫所との意見交換について
*情勢報告

出席会員：7 社(ゲスト参加：山本満祥（社）日本種鶏孵卵協会会長)

事務局：（社）日本種鶏孵卵協会常務理事 林正司

5 国産鶏普及協議会

(1) 通常総会

開催期日：平成 23 年 6 月 13 日（月）13：30～14：40

場 所：馬事畜産会館 会議室

- 議 題：*平成22年度事業報告及び決算報告
*平成23年度事業計画及び予算案
*役員改選

(役員改選)

○辞任

- 会 長 後藤 悦男 (株)後藤孵卵場 取締役相談役
副会長 竹之内 一 (株)九州孵卵 代表取締役社長
監 事 星野 雅史 (とりっこ”ホシノ “代表)

○新役員

- 会 長 小松 伸好 (株)小松種鶏場 取締役社長
副会長 日比野 義人 (株)後藤孵卵場 取締役社長
副会長 竹之内 一樹 (株)九州孵卵 常務取締役
監 事 松迫 幸二郎 (株)イシイ 取締役本部長
顧 問 後藤 悦男 (株)後藤孵卵場 取締役相談役

(2) 記念事業

開催期日：平成23年6月13日(月)15:30~17:00

場 所：馬事畜産会館 会議室

◎ 国産鶏飼養優良経営農家表彰事業：

採卵鶏部門：西垣 源正 (株)西垣養鶏場：兵庫県豊岡市)

肉用鶏部門：富松 耕助 (福岡県久留米市)

◎ 記念講演：「私の養鶏経営」

講 師：西垣 源正 (株)西垣養鶏場：兵庫県豊岡市)

(3) 現地協議会・研修会

開催期日：平成23年12月13日(火)~12月14日(水)

開催場所：松本ホテル花月(松本市大手4-8-9)

① 研修会：12月13日(火)14:00~16:20

研修会テーマ「国産鶏の普及と地域の直売方式について」

演題&講師：

「地鶏と卵の通信販売戦略」 中村 努 (有)勝栄 代表取締役)

「(有)ブラウンエッグファームの直売店「ちゃたまや」の販売戦略」

滝沢 栄喜 (有)ブラウンエッグファーム 代表取締役社長)

「信濃地鶏の生産から販売」

山浦 忠治 (農業生産法人 (有)信濃農園代表取締役)

コメンテーター：米田 勝紀 ((独)家畜改良センター 岡崎牧場長)

山本 洋一 ((独)家畜改良センター 兵庫牧場長)

② 現地研修会：12月14日(木) 9:00～14:00

視察地：(有)ブラウンエッグファーム (旧社名 (有)東信養鶏)

所在地(農場)：長野県佐久市桑山356-1

(特売店「ちゃたまや」)：佐久市桑山102-1

事業内容：①養鶏採卵業

②パック・製品化及び小売り販売・飲食店などへの納品

③鶏卵を使った洋菓子の製造・販売

④地域農産物の直売

6 レイヤー素ひな計画生産検討会・レイヤー孵卵部会・ひな育成部会

(1) 臨時検討会

開催期日：平成23年5月10日(火) 15:30～

場 所：馬事畜産会館 会議室

部会長：村田 明敏

検討事項：*平成22年種鶏導入実績及び平成23年種鶏導入計画

*平成23年の素ひな生産見込みについて

*レイヤー素ひなの需給見通し及び地域情勢について

(HPAI及び東日本大震災の影響等)

(2) 第1回検討会

開催期日：平成23年7月12日(火) 13:30～

場 所：馬事畜産会館 会議室

部会長：村田 明敏

検討事項：*平成22年種鶏導入実績及び平成23年種鶏導入計画
*平成23年の素ひな生産見込みについて
*レイヤー素ひなの需給見通し及び地域情勢について

(3) 第2回検討会

開催期日：平成24年2月10日(金) 13:30～

場 所：馬事畜産会館 会議室

部 会 長：村田 明敏

検討事項：*平成23年レイヤー種鶏導入実績及び平成24年導入計画
*平成24年の素ひな生産見込みについて
*レイヤー素ひなの需給見通し及び地域情勢について

7 ブロイラー素ひな計画生産検討会・ブロイラー孵卵部会

(1) 臨時検討会

開催期日：平成23年5月10日(火) 13:30～

場 所：馬事畜産会館 会議室

部 会 長：山本満祥

検討事項：*平成22年種鶏導入実績及び平成23年種鶏導入計画
*平成23年の素ひな生産見込みについて
*ブロイラー素ひなの需給見通し及び地域情勢について
(HPAI及び東日本大震災の影響等)

(2) 第1回検討会

開催期日：平成23年7月13日(水) 13:30～

場 所：馬事畜産会館 会議室

部 会 長：山本満祥

検討事項：*平成22年種鶏導入実績及び平成23年種鶏導入計画
*平成23年の素ひな生産見込みについて
*ブロイラー素ひなの需給見通し及び地域情勢について
*ブロイラー孵卵部会((社)日本食鳥協会と合同)

(3) 第2回検討会

開催期日：平成24年2月9日（木）13：30～

場 所：馬事畜産会館 会議室

部 会 長：山本満祥

検討事項：*平成23年種鶏導入実績及び平成24年導入計画

*平成24年の素ひな生産能力について

*ブロイラー素ひなの需給見通し及び地域情勢について

*ブロイラー孵卵部会（(社)日本食鳥協会と合同)

8 平成23年度種鶏安定供給対策事業（JRA助成事業）（新規）

(1) 種鶏安定供給対策事業 事業推進委員会

① 委員構成

委員長：山本 満祥（(社)日本種鶏孵卵協会 会長）

委 員：新延 修（レイヤー）

森 泰三（ブロイラー）

渡邊 周治（レイヤー・原種鶏）

大角 岩雄（ブロイラー・原種鶏）

島田 英幸（(社)日本養鶏協会）

西塚 修悟（(社)日本食鳥協会）

②事業推進委員会の開催

i 第1回事業推進委員会

開催期日：平成23年8月17日（水）13：30～

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：

1) 種鶏安定供給対策事業の概要及び仕組みについて

2) 事業計画（年度別）の概要について

3) 事業推進委員及び専門委員会について

4) 第52回全日本初生雛雌雄鑑別選手権大会実施計画（案）について

5) 高病原性・低病原性鳥インフルエンザ防疫対応マニュアル作成事業について

6) 種鶏ふ卵衛生管理技術研修会の開催について

ii 第2回事業推進委員会

開催期日：平成24年3月9日（金）13：30～

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：

- 1)平成23年度種鶏安定供給対策事業の実施状況について
- 2)平成24年度事業計画の概要について

(2) 高病原性鳥インフルエンザ防疫対応マニュアル作成等事業専門委員会

① 委員構成

◎山口 成夫（(社)畜産技術協会 参与）

塩谷 暁夫（(株)ゲン・コーポレーション 顧問）

中村 賢司（日本ホワイトファーム(株) 課長 飼育動物診療所 獣医師）

野村 登喜枝（宮崎県宮崎家畜保健衛生所 主任技師）

福田 菊人（豊橋飼料(株)テクニカルセンター 執行役員 次長）

瀬戸口 正人（マルイ農協ファーム(株)常務取締役）

※◎は委員長

② 専門委員会の開催

i 第1回専門委員会

開催期日：平成23年9月9日（金）13：30～16：30

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：

- 1) 種鶏安定供給対策事業の概要及び仕組みについて
- 2) 高病原性・低病原性鳥インフルエンザ防疫対応マニュアル作成事業について

ii 第2回専門委員会

開催期日：平成24年2月21日（火）13：30～

場 所：馬事畜産会館

協議事項：高病原性・低病原性鳥インフルエンザ防疫対応マニュアル（素案）について

- (3) 鶏ひなふ化羽数データ収集調査の実施及び毎月の羽数を公表
平成 23 年 4 月～6 月は(社)日本種鶏孵卵協会で実施。
平成 23 年 7 月～24 年 3 月は種鶏安定供給対策事業で実施。

9 種鶏・ふ卵衛生管理対策技術推進事業

(社) 日本養鶏協会事業： 養鶏飼養環境改善推進事業)

(1) 種鶏孵卵衛生管理技術研修会

社団法人日本養鶏協会が J R A の (財) 全国競馬・畜産振興会から助成を受けて実施する「養鶏飼養環境改善推進事業」のうち「種鶏・ふ卵衛生管理対策技術推進事業」について(社)日本種鶏孵卵協会として参画し事業を実施した。

- ①研修会日程：平成 23 年 10 月 11 日 (火) ～14 日 (金) 3 泊 4 日
- ②開催場所：(独) 家畜改良センター「畜産研修施設」 福島県西白河郡西郷村
- ③受講者総数：51 人 (前年度 51 人)

10 鶏卵・鶏肉の消費促進事業

(1) 鳥インフルエンザ対策・鶏卵消費促進事業 ((社) 日本養鶏協会)

(社) 日本養鶏協会が実施する「鳥インフルエンザ対策・鶏卵消費促進事業」について、レイヤー会員からの拠出金 (組織強化費から充当) を負担金として拠出して協力。

(2) 全国鶏卵消費促進協議会及び全国鶏肉促進協議会に対して協力負担金を拠出して協力。

① 全国鶏卵消費促進協議会 (事務局：(社) 全国鶏卵価格安定基金)

- 主な事業：○「たまごで能力リフレッシュ」
(くらしのなかのタマゴゴシリーズ)
○地域鶏卵消費促進活動への協力

② 全国鶏肉消費促進協議会 (事務局：(社) 日本食鳥協会)

構成団体：(社) 日本養鶏協会、(社) 日本種鶏孵卵協会、(社) 日本卵業協会、(協) 日本飼料工業会、全国農業協同組合連合会、全国鶏卵販売農業協同組合連合会、日本養鶏農業協同組合連合会、(社) 全国鶏卵価格安定基金、(社) 全日本卵価安定基金、全国たまご商業協同組合。

主な事業：国産チキン祭りへの後援及び助成

構成団体：(協) 日本飼料工業会、全国農業協同組合連合会、(社) 日本養鶏協会、(社) 日本種鶏孵卵協会、(社) 日本食鳥協会